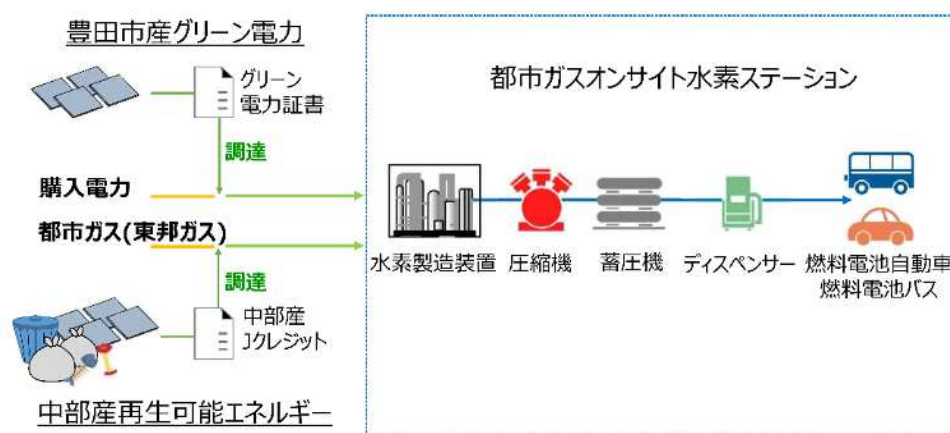


(参考1) 東邦ガス株式会社の低炭素水素について

東邦ガス株式会社は、豊田^{おしかも}豊栄水素ステーション（豊田市^{おしかも}鴛鴨町中原 267-2）において、都市ガスからの水素製造時に発生する二酸化炭素排出量を、J-クレジット（※1）及びグリーン電力証書（※2）でオフセットすることで低炭素水素を製造する「東邦ガス水素ステーション豊田市産他再エネ価値利用水素供給プロジェクト」を実施しており、今回の事業では、当該プロジェクトで製造された低炭素水素を活用（※3）している。

なお、本取組は中部圏低炭素水素認証制度（※4）の6番目の認定プロジェクトとなっている。



「東邦ガス水素ステーション豊田市産他再エネ価値利用水素供給プロジェクト」の概要

- ※1 再生可能エネルギーの導入等による二酸化炭素排出削減量をクレジットとして国が認証したもの。J-クレジットで水素製造に伴う二酸化炭素排出量を相殺（カーボンオフセット）することができる。
- ※2 再生可能エネルギーにより発電された電力の環境価値を証書化したもの。水素製造に伴う二酸化炭素排出量を相殺（カーボンオフセット）することができる。
- ※3 豊田豊栄水素ステーションは、1月28日(火)から3月12日(水)まで設備点検で休業中のため、今回の低炭素水素活用イベントで利用する水素は、後日、Moving eに充填。
- ※4 水素の製造、輸送、利用に伴う二酸化炭素の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する制度。2018年4月、愛知県の制度として全国で初めて制定。2023年4月からは対象範囲を中部圏（岐阜、愛知、三重の3県）に拡大し、「中部圏低炭素水素認証制度」として運用している。